

舗、長期療養所を中核とした複合施設など、防災上配慮の必要な施設であることも踏まえながら、皆様のご意見を結集し最善のプランを県に要望したいと考えています。

福井町政の評価は

横尾議員

9月所信表明で政策について述べていますが、改めて自己評価をしていただきたいと思えます。

重点政策の中で私は空き家・空き店舗対策・農林水産業の再生については成果が上がっているのか疑問に思います。また、河内活性化センターは目立つ看板がなく十分なお披露目や住民活用ができていないと思えます。旧温泉施設も売却先が見つからない状況において、もつと成果が上がる施策をお願いしたいと考えてます。

福井町長

防災については来る南海トラフ地震に対して、やるべきことを1000として、進捗率を評価点としますと、避難路と避難所は、ほぼ完了、学校関連施設の移転完了、また、海部病院の移転も目途が立ったとしても、まだ役場の耐震化・津波対策が残っていますし、民間施設の耐震化もほとんど進んでいません。さらに災害時要援護者の対応も進んでいません。したがって50点程度と考えています。また、活性化については、平成25年に牟岐町再生会議を開催し、できるだけ多くの方から再生に向けた意見をいただくべく努力しましたが、活性化への行動には至りませんでした。しかしながら、活性化に向けての方針は確立したと考えています。

具体の取り組みとして、9月1日より河内活性化センターが稼働し、地域おこし協力隊が活動を開始したこともあり、スタートラインから一歩踏み出したと考えています。

全町挙げて取り組み 仕組みづくりを

藤元 雅文 議員

健康づくりは、個人の人生、その個人につながる家族の幸せのみならず、町全体の活気、国保会計にも関わってくることであり、ぜひ成功させなければならぬ課題です。ただ、健診受診率は依然として低迷を続

けていますし、運動を始めた人はまだまだ少数です。また、学校では「早寝早起き朝ごはん」と、当たり前のことを指導しなければならぬ状況です。さらに本県は、野菜の摂取量が少なく、糖尿病死亡率の高い状



保健師による特定検診結果説明

況が続いています。そこで、お聞きいたします。

- 一、町長の健康に対する認識は。
- 二、本町住民の健康状態と取り組みにあたっての今後の課題は。
- 三、町長の言う「保養と健康の町」牟岐を実現するには、住民のみなさんが主体的に関わり、知恵と力を発揮できる「牟岐町健康づくり協議会」（仮称）の立ち上げが必要ではないか。

福井町長

健康とは、自分は健康だから何でもできるのだという前向きな心身の状態だと思っています。

昨年の時点で、平均寿命は県下で男性は15番目、女性5番目に高く、早死には22番目に少ない状況です。また、特定健診結果によると、メタボ予備軍、メタボ該当者、血圧の高い人は県下で一番少ない割合となっており、牟岐町住民は比較的健康的な状態ということですが。ただ、一人当たりの医療費は、県下で6番目に高